

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 情報システム戦略課
 担当名: 企画・セキュリティ担当
 内線: 2272

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B20	情報セキュリティクラウド事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	電子県庁推進費	
事業期間	平成29年度～	根拠法令	なし			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 9, 11
						分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット 9-1, 11-1
1 事業概要	頻発・高度化するサイバー攻撃から県及び市町村の重要情報を守るため、県と市町村のインターネット接続口を集約して高度な防御機能と一元的な監視強化を行うことにより、インターネットにおける自治体の高度なセキュリティ水準を確保する。 (1) 次期セキュリティクラウド導入・移行 契約差金により減 105,090千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 情報セキュリティクラウド運用 233,288千円 (ア) 保守・運用費用 116,826千円 a 県及び市町村のインターネット接続口を集約し、通信を監視する。 b 通信を制御・監視するセキュリティ機器は県・市町村で共同利用する。 c すべてのセキュリティ機器は県が設置し、機器の運用や通信の監視は県及び市町村が共同で実施する。 (イ) 各種ライセンス費用 116,462千円 a 情報セキュリティクラウドの運用・保守を1年延長することに伴い、必要となる各種ライセンスを調達する。 イ SSL復号機能費用 13,544千円 (ア) 情報セキュリティクラウドにおいてSSL通信を復号化し監視する。 ウ 次期情報セキュリティクラウドの導入・移行 196,707千円 (ア) 県及び市町村のセキュリティ水準を確保することを目的として、国から示された標準要件を基に次期情報セキュリティクラウドを導入し移行する。 (2) 事業計画 ア 平成27・28年度 情報セキュリティクラウドの構築 イ 平成29年度以降 情報セキュリティクラウドの運用 ウ 令和3年度 次期情報セキュリティクラウドの基本設計 エ 令和4年度 次期情報セキュリティクラウドの導入・移行 オ 令和5年度 次期情報セキュリティクラウドの運用開始 (3) 事業効果 ア 県及び市町村が高度なセキュリティ水準を確保し、セキュリティ事故の発生を抑制する。 (4) 補正予算の概要 次期SC初期費用の契約差金等による減額					
2 事業主体及び負担区分	(1) (県10/10) 市町村負担あり (2) (県 5/10) 市町村負担あり (国 5/10)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×4.6人=43,700千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△105,090	諸収入	△9,409					△95,681	443,539
現計額	548,629		327,166					221,463	

事業内訳書

事業名	情報セキュリティクラウド事業費		
単位事業名	次期情報セキュリティクラウドの導入	予算額	△ 105,090千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△80	—	総合評価委員会の開催回数の減
役務費	△95,906	—	契約差金による減
委託料	△9,104	—	契約差金による減
合計	△105,090	—	